



家庭菜園

Beginner's

初めての畑づくり



JA 滋賀蒲生町

畑ビギナーズ

Beginner's



「さて、何を作ろう？」

種を蒔く直前になって、種を買いにお店へ行って「何があるのかな」と見て回るのも家庭菜園の楽しみの一つですが、冬のこの時期はたいした畑仕事はありませんので、折角ですから、今年一年、何を作るのか、12カ月の栽培計画を立ててみてはいかがでしょうか。



【年間計画】

大きな畑、庭先の小規模の畑、プランター栽培など、畑の規模、また環境もさまざまです。どこに何を作付けするかは、畑の状況によっても考えましょう。

土壌の乾湿によって適する野菜は違います。多湿を好み乾燥に弱いのはミツバ、サトイモ、セロリ、フキなどです。多湿に弱く排水の良い畑を好むのはサツマイモ、トマト、ネギ、ダイコン、ゴボウ、カボチャなどです。畑全体が多湿の場合は排水をしっかりと設け、高畝にするなどの対策をしましょう。

日当たりについては、弱い光線でも育つのはインゲンマメ、ミョウガ、フキ、ミツバ、ショウガ、パセリ、セロリ、レタス、葉ネギ、サトイモなど多くの種類があります。強い光線を好むのはスイカ、メロン、トマトなどの果菜類、トウモロコシ、サツマイモなどです。

プランター栽培なら、日当たりや乾湿具合を調整しやすいですが、面積が狭いので深く根の張るものや横に広がるものなどはあまり適しません。しかし多くの野菜は栽培可能ですので、キッチン近くのベランダや軒下に、サラダ菜やネギ、パセリなど手短にあると便利な野菜を植えてみてはいかがでしょうか。

乾湿の相性

多湿を好む	レンコン、クワイ、セリ など
多湿でも育つ	ミツバ、サトイモ、フキ、セロリ、タマネギ、ナス など
多湿に弱く乾燥地で育つ	ジャガイモ、サツマイモ、ゴボウ、ダイコン、ネギ類、カボチャ、ウリ、ホウレンソウ など

日当たりの相性

日当たり好き	ウリ類、豆類、サツマイモ、ニガウリ、イチゴ、スイカ、メロン、トマト、ナス、タマネギ、キャベツ、結球ハクサイ、根菜類、トウモロコシ など
半日陰でも育つ	サトイモ、ネギ、アスパラガス、ワケギ、ホウレンソウ、小カブ、インゲンマメ、バセリ、セロリ、レタス、葉ネギ、ニラ、ミョウガ、ミツバ、フキ、ショウガ など

【輪作のすすめ】

連作障害を出さないためには、次々と種類を代えて栽培することです。これを『輪作』と言います。輪作が良い理由は、互いに吸収量の違う養分を吸い合ったり、特定の病原菌が増えるのを自然に防いだり、微量要素を補い合ったりするからです。このように土をいつも安定した状態にしておくことが野菜づくりの基本で、それを補助するには堆肥を投入します。また、輪作の相性、隣に植えるもの同士の相性も考えてみましょう。

連作を嫌わない野菜

サツマイモ、ニンジン、ダイコン、タマネギ、ネギ、ニンニク、フキ、ショウガ、コマツナ、カボチャ、スイートコーン など

連作を嫌う野菜（休閑の目安）

1年休むとよいもの	インゲン、エダマメ、ホウレンソウ、カラシナ、タカナ、タアサイ、カリフラワー など
2年休むとよいもの	レタス、サラダナ、ニラ、バセリ、ハクサイ、キャベツ、キュウリ、イチゴ、ショウガ など
3~4年休むとよいもの	ナス、トマト、ピーマン、ジャガイモ、ラッカセイ、ソラマメ、ササゲ、サトイモ、ゴボウ、セロリ、メロン、シロウリ など
4~5年休むとよいもの	スイカ エンドウ など

輪作の相性

相性のよい組み合わせ（例）	相性のよくない組み合わせ（例）
<ul style="list-style-type: none"> ■トウモロコシ（イネ科）⇒ダイコン（アブラナ科）⇒ナス（ナス科） ■キュウリ（ウリ科）⇒ネギ（ユリ科）⇒インゲンマメ（マメ科） ■タマネギ（ユリ科）⇒ブロッコリー（アブラナ科）⇒トマト（ナス科） ■ナス（ナス科）⇒カブ（アブラナ科）⇒ホウレンソウ（アカザ科） 	<ul style="list-style-type: none"> ■キュウリ（ウリ科）⇒カボチャ（ウリ科）⇒メロン（ウリ科） ■キャベツ（アブラナ科）⇒ダイコン（アブラナ科）⇒カブ（アブラナ科） ■ジャガイモ（ナス科）⇒ナス（ナス科）⇒トマト（ナス科）

point

- ☆ナスのあとのナス科野菜は青枯れ病が出やすい
- ☆肥料を食い残すセロリ・ハクサイのあとのサツマイモは蔓が多くなる
- ☆エンドウのあとのホウレンソウは立枯れ病が多い
- ☆ツルボケしやすいスイカ・メロン・カボチャは、ダイコンのあとに植えるとよい

【隣に植える相性】

植物同士がお互いに良い影響をもたらす効果を利用したコンパニオンプランツ。例えばセロリはモンシロチョウを寄せ付けないと言われているので、キャベツの隣に植えるとモンシロチョウが飛来しにくく、アオムシの被害も抑えられる、というものです。それとは逆に、近くに植えてしまうと悪い影響がでてしまう組み合わせもあります。

相性の良い組み合わせ

作物名	組み合わせ	効果・作用
アブラナ科 キャベツ ブロッコリー チンゲンサイ	トマト サルビア など	アブラナ科にとっての害虫であるモンシロチョウを遠ざけてくれる。
ウリ科 キュウリ カボチャ ゴーヤ	長ネギ	一緒に植えると連鎖障害を防ぐ。
	トウモロコシ ジャガイモ キャベツ	キュウリと混植すると双方の生育がよくなる。
	トウモロコシ メロン	カボチャと混植すると双方の生育がよくなる。ちなみにカボチャは、ジャガイモとの相性が悪いので混植は避けたい。
アカザ科 ホウレンソウ	葉ネギ	一緒に植えることによってアカザ科の葉に含まれている発ガン性のある硝酸が緩和。
ナス科 トマト ピーマン トウガラシ ジャガイモ ナス など	ニラ	一緒に植えると栄養状態がよくなる。
	マメ科	ナス、ジャガイモと相性が良く、混植すると双方の生育がよくなる。
	アスパラガス パセリ キュウリ ニンジン	トマトと相性が良く、混植すると双方の生育がよくなる。
マメ科 インゲン 枝豆 そら豆	野菜全般	ほかの野菜と一緒に植えることで野菜の生育を良くするのが、例外としてインゲンはカブやキャベツ、ビートとの相性が悪いので注意。 また、ウリ科の植物と混植するとセンチュウが増えるので避ける。
ユリ科 ネギ ニラ タマネギ アスパラガス	ウリ科	ネギ属の植物はウリ科の植物と混植すると連鎖障害を妨げる。
	トマト	アスパラガスと混植するとアスパラガスが雑草を抑制して双方の生育がよくなる。
	キャベツ レタス ニンジン	タマネギと混植するとお互いに生育がよくなる。

相性の良くない組み合わせ（参考）

作物名	組み合わせ	作用
キュウリ	インゲンなどマメ科	虫が付きやすくなる
ダイコン	ネギ	根の育ちが悪くなる
ナス	トウモロコシ	育ちが悪くなる
トマト	ジャガイモ	病害虫（特に疫病）の飛沫
イチゴ	ネギ類	育ちが悪くなる
カボチャ	スイカ メロン	疫病の飛沫

☆ジャガイモの近くにトマト、カボチャの近くにスイカ・メロンを植えると、降雨などで疫病が飛沫する恐れがある

☆同じウネに肥料を多く必要とするものと、肥料をあまりやらないほうがいいものを植えてしまうと、どちらかが肥料の影響を受けてしまう